

ふるさと河内

発行所
南河内
むらづくり塾

菜の花フェスティバルに迎えられて



河内小 藤山陽子

四月、河内小へ着任した私達を迎えてくれたのは、満開のさくら、温かい木造校舎、笑顔いっぱいの子供達、そして、菜の花フェスティバルで元気全開の地域の皆様でした。

四月の学校は、慌ただしさでいっぱいです。そんな中、『菜の花フェスタで、サイネリアを売ろう』という話が、持ち上がりました。今年のサイネリアのときは素晴らしく（涙ぐましい努力の成果ですが）学校は花で溢れていたのです。当日、西中に少し早めに着い



た私が見たものは、瞬く間のテント設営に、素早い店の準備に、あふれる人。にぎやかな話し声に笑い声に歌声によさこい……。『これが、河内パワーなんだ。この豊かさの中で子ども達は育っているのだ。』今からの子ども達との充実した毎日を予感させてくれるような出来事でした。あれから、五ヶ月。地域の皆様に見守られ、今日も学校に元気な声が響きます。子ども達は、地域の宝です。菜の花のように可憐でかわいらしく、それでいて、丈夫でたくましい元気な河内っ子を目指し、みんなで頑張ります。

東日本大震災に思う

山本孝夫

今年三月十一日十四時四十分、東日本大震災が発生いたしました。地震の規模を示すマグニチュード九・〇これは日本国内での観測史上最大であるとともに、世界でも一九〇〇年以降四番目に大きな巨大地震となりました。死者数一五、六二八人、行方不明者四、八二三人、負傷者五、六九九人（七月二十五日警視庁発表）断層破壊した震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約五〇〇km東西約二〇〇kmの広範囲に及びました。

特に東京電力福島第一原子力発電所では冷却不能に陥り水素爆発等で放射能を放出して福島産牛、宮城産牛、岩手産牛、栃木産牛の四県の牛が出荷停止に至りました。今後は稲作への影響が心配されるところです。そこには政治の混迷、空白がつづくなか、被災地の皆さんが決してあきらめることなく立ち向かっておられる姿、東北地域人の辛抱強さに支援する人々のつながり合う姿が見えます。

そんななか「なでしこジャパン」は女子ワールドカップで初優勝。（年齢制限の無いフル代表

が世界一を争う大会で日本が優勝したのは、男女を通じて初めて）この勝ち被災地への激励であり、自分たちで女子サッカーを格上げしました。世界から好感を持たれる東北の人、フアインプレー賞を貰ったなでしこジャパンどちらも「日本の底力」「チームワークの良さ」で逆に日本を元氣付けてきています。十年後の素晴らしい復興を期待し、被災地をみんなで応援しましょう。



南河内むらづくり塾 全体会議開催

七月二十五日（月）南河内公民館に於いて平成二十三年度南河内むらづくり塾全体会議が、開催されました。始めに平成二十二年度活動

報告、決算報告、続き平成二十三年度活動計画が各班より報告があり承認されました。むらづくり塾では平成二十三年度活動計画に基づき「皆が喜んで住む南河内づくり」のためこの一年間塾生一同頑張ってお参りますので今後共よろしくお願ひします。

菜の花フェスティバルについて

第十四回の菜の花フェスティバルが去る四月十日（日）西中学校周辺で開催されました。今年も晴天に恵まれ多勢の人出で賑わいました。

バザー等の売れ行きも上々で、盛大に終了する事ができましたが、ただ種まき時の手違いがあつて、菜の花の開花が遅れ子供達が楽しみにしていた「宝さがし」が二年続いて出来ず、又カメラ撮影にも大変ご迷惑をおかけし心苦しく思っております。

来年こそは今年の教訓をいかし畑いっぱいに黄色のジュータンを敷きつめた花畑にしたいと思ひますのでご期待下さい。（スタッフ一同より）

もちまき大会



多くの人で賑わいました

アフリカとふるさと

保木 高木 加代子

「アフリカって、ケニアって、どんなところなん？」
そう聞かれていつもすと答えが出てきません。日本や南河内に色々な顔があり、魅力があるようにケニアも一言では語れません。しかしながら、二〇〇五年に初めてケニアに渡った時から、なぜか惹かれてそこに戻ってしまふ、そんな力のある場所です。

私が所属している団体、アフリカ地域開発市民の会は、ケニアの農村部で教育・保健・環境に関連した開発協力活動を行っています。現地住民による小学校舎建設への協力や、教員や一般女性を対象とした保健・衛生に関する研修の開催、土壌保全や農業技術・知識の提供などです。

村づくり塾生として

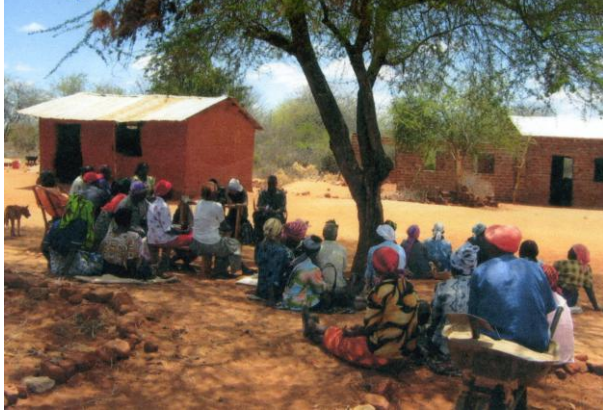
山下 博

かもしれませんが、そこには貧困の苦しみというよりも、普通でそして大切な日常があります。心配事や不安は尽きませんが、日常を笑って過ごせる強さがある。それが私にとつてのケニアの魅力かもしれませんが、遠くて全く違った国に思えますが、根っこにある部分は似ているのかもしれませんがね。

私が所属している団体、アフリカ地域開発市民の会は、ケニアの農村部で教育・保健・環境に関連した開発協力活動を行っています。現地住民による小学校舎建設への協力や、教員や一般女性を対象とした保健・衛生に関する研修の開催、土壌保全や農業技術・知識の提供などです。



小学校の中に付属している幼稚園にて、保護者が出したお金の意図した粥を食べる子どもたち



小学校を建てる計画について話し合うために集まった保護者たち

長年にわたり築き上げてこられた朝市に参加させていただきありがとうございます。出荷約八ヶ月になりました。出荷されている花や野菜の(質・量)なんとすばらしい事、びっくりしました。みなさんに野菜作りのイロハを教えるもらいながらマイペースで農作業をして行くかと思っております。私も少しづつ出荷をしています。

高木 節子

また、この度は「南河内村づくり塾全体会議」に出席し、その活動の幅広さに認識を新たにしました。今後は「いきいき班」の一員として、村づくり塾の理念を共有できるよう努力したいと思っております。よろしくお願いします。

材料
きゅうりの即席漬
A
きゅうり 3本
ごま油 大1/2
塩 少々
しょうゆ 大1/2
化学調味料 少々
とうがらし 少々
きゅうりは一口大の乱切りに塩を振りしんなりするまで置く。良く絞る①の調味料を入れて、とうがらしの輪切りを入れても良い。自分の好みに合わせてください。



すが残る事もなく嬉しく思っています。たくさんの人々との出会いの場にめぐまれ感謝しています。これからもよろしくお願致します。

編集後記



残暑お見舞い申し上げます。今年三月十一日東北関東地方にかけて、震度9の巨大な地震が起きました。東北地方を中心に大きな津波が発生、海岸近くで多数の遺体が見つかり多くの人の行方不明者が出ました。心からご冥福お祈り申し上げます。

それに東京電力福島第一原発では冷却装置のトラブルも発生し半径3km以内に避難指示が出され原子力緊急対策特別措置法に基づき、初の「原子力緊急事態宣言」が発令されました。私達は、テレビの画面でみた時、一瞬声が出たのが「わーあ、あれ何で」でした。それから、火災、津波の早さ、一気に家、人、車を呑み込む光景でした。避難8日目、とん汁、みんな生きかえると、うれしい涙。

四ヶ月たつ今でも地震が日に何回もあると、被災者の方達はボランティアの方に支援してもらったけど「自分達も前向きに生きなくては」とがんばっておられます。今では三〇キロ以内放射性セシウムで野菜、果物、肉、茶等、被爆、汚染でたいへんだと思えます。早く復興できるように願っております。

また梅雨明けと同時に、今度は連日の猛暑で、熱中症の心配。全国各地で熱中症で亡くなった方が多いとの事。その中で農作業される方々、家におられる方は窓を開けて空気の入替えを、水分補給を充分取り体調管理に気をつけましょう。

